活力あふれる街
住民による
住民のための
街づくり

曽野木地区 地域づくりだより
VOL.11

曽野木地区
地域づくり協議会
発行責任者　野　上　文　彰
事　務　所
亀田郷土地改良区　曽野木出張所
新潟市江南区曽川甲5－1
TEL　025－280－6101
FAX　025－280－6218

平成25年度 曽野木地区地域づくり協議会総会開催

平成25年5月31日(金)、曽野木地区公民館3F大ホールにおいて、「曽野木地区地域づくり協議会総会」を開催しました。総会では、平成24年度活動・会計報告、平成25年度の活動計画・予算案・協議会役員について審議され、全会一致で可決承認されました。また、7つの課題に重点的に取り組むことを確認しました。

1. 曽野木市営住宅の跡地利用
2. 楚川排水路(仮称)新設
3. 区バス路線の充実(増便)
4. 県道新潟・寺泊線と県道新潟・亀田・内野線の整備促進(歩道道路)
5. 小中3校の周辺整備(標識等の設置)
6. 大堀排水路の改修(天野地内)
7. 市道南7―047―166と市道02B53の交差点の信号機設置

曽野木地区地域づくり協議会は、地域の要望を地域の皆さんの団結で実現する会です。所属する団体を通じて、ご意見ご要望をお寄せ下さい。

総会記念講演

総会終了後、北方文化博物館理事の神田勝郎様より、「地名は旅をする」と題して講演をいただきました。自ら住む「横越」の由来、意味を探求され、その過程で着目された全国9カ所にある「横越」を、神田さんが実際に訪れ、歴史や成り立ちなどを地元の文献を基に「横越」という地名の由来の謎に近づこうとしたこれまでの活動についてお話しをいただきました。

講演では、神田さんが自身の調査から推測したことや、それぞれの横越を訪れて感じたこと、調査に関連してわかったことなど様々な話がありました。

その土地についた名称は、長い歳月や社会変動、集落の形成や土地の利用の過程で誰もが認める固有の地名となって今日まで伝えられてきたもので、各地の横越にもそれぞれの確かな歴史があることが伺えました。

この度の講演では、神田様の「郷土への愛」を感じることができました。

天野帝釈天の改築竣工なる

昨年4月、亀田郷地域センターの助成金交付決定を受け、有志の方々、及び天野自治会員の寄附金によって帝釈天を改築、7月竣工となりました。

江戸時代の末期まで、S字型に蛇行して流れていた信濃川。当時、頻繁に氾濫して水害に遭っていた天野の地を救う為、一大治水事業を行ない、現在の川筋に流れを変えた立役者の加藤順蔵、中澤近右ヱ門等が祭られています。

天野を水害から守り、農耕地を整え、現在の礎を築きあげてくれた人たちであります。

隣には「顕彰碑」もあり、ぜひ一度ご覧ください。

自治会紹介
鍋潟新田自治会
会長　青木　功

目の前にエコスタ ビッグスワンが広がる鍋潟新田です。自宅に居ながら試合観戦しているような気分になります。特にサッカーのゴールの瞬間は地鳴りのように聞こえて来ます。

さて、当自治会は世帯数が65戸の自治会です。活動の場となる鍋潟新田自治会館は、新潟市の自治会等集会所建設補助金の交付を受けて昨年11月に完成しました。面積98.5㎡の冷暖房、オール電化のピカピカの最先端の近代的な建物です。

ここを拠点にして自治会員の親ぼくをはかり、老人会、夏休みの子供会のお楽しみ会などの交流の場として活用し、地域の集会場、交流の拠点として鍋潟新田自治会が発展できるよう頑張っていく所存です。

発行協力: 一般財団法人 亀田郷地域センター